



第29号
 発行者
 いしづち森林組合
 TEL 0897-56-0180
 FAX 0897-56-8818

組合員数 2,623人
 出資金 269,035,000円
 令和4年5月31日現在

謹賀新年



組合員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと御慶び申し上げます。
 平素より当森林組合に対し、格別のご理解とご支援を賜り役員一同心より御礼申し上げます。

昨年は年初めからロシアがウクライナへの軍事侵攻に踏み切りました。自国第一主義の逸脱行為により国際社会は、様々な影響を受け、物資の供給や資源の流通が滞り日常生活に多大な支障をきたしています。

又、未だ終息の見通しが立たない新型コロナウイルスと今年3年ぶりに流行の兆しを見せているインフルエンザとの同時発症予想に、更なる試練が課せられ、生活様式の変更を余儀なくされる状況にあります。一刻も早いウクライナ侵攻の収束と世界の安寧、良好な社会秩序の実現を願うばかりです。

林業界は、2021年に起こったウッドショックにより一時期木材が高騰しましたが、下降状況にあります。山林所有者にとっては再び上向くことを期待しています。

さて、当森林組合及び林業界の昨年の動向と今年の予定については次の通りです。

ア 昨年度の状況

一 事業関係

搬出間伐を主とした施業を実施し、資源循環型の全伐事業についても計画通り進めました。保育については、両市の環境譲与税を基にした事業を受注し、愛媛県の入札事業にも参加して事業確保に努めました。

補助事業以外では、特殊伐採等も受注実施し、半期決算では未精算事業もありましたが、ほぼ計画通りで利益が確保されました。

昨年度多発した労働災害については労働基準監督署の指導の下、災害を引き起こす要因を突き止めて安全な作業形態でゼロ災を目指すよう創意工夫の上取組んでいます。

その他の事業関係では、作業の効率化や精度向上のためICT等の導入でスマート林業の推進を図っています。

二 人材の確保と育成状況

技能職員については新規採用者や中途採用者の確保ができています。令和5年には、2名が採用予定になっています。人材確保が難しい時代ですが、地元産業高等学校や職業安定所等への情報発信を継続してきた甲斐があり、人材確保が出来嬉しく思っているところですが、採用者については、しっかりとした安全教育と研修で戦力となる人材にすべく指導して参ります。

職場環境については土曜休日を一口増やし、第一土曜日、第二土曜日及び第四土曜日を休みとしました。完全週休二日制まであと少しです。ほかの一般中小企業と比較しても何ら遜色のない程度にまでなりました。今後も環境整備に努めていきたいと思っております。

三 経営及び事業進捗状況

経営については現在順調に進んでいます。事業関係についても少々遅れ気味ではありますが、利益確保は出来ています。この点については、事業は完了しているが経理処理が出来ていないものと今後事業実施するものが多いためです。

事業進捗状況としては計画よりは良い状態で折り返すことが出来ました。後半も計画通り進めていくよう努力いたします。

四 「JForestビジョン2030」

森林組合系統では、新森林組合系統運動(2021年10月の第29回全国森林組合大会)「JForestビジョン2030」を決議し、地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向けて次の3つのスローガンを掲げ取り組むこととしたところです。

- ① 組合員のサービス向上
 - ② 働く人の所得向上・就業環境改善
 - ③ 事業拡大・効率化による経営の安定
- この運動では、県や市の行政と連携した「森林管理体制の整備」・「循環型林業の確保と木材販売力の強化」・「高度人材の確保・育成」・「信頼される組織体制の確立」・「国民及びSDGsへの貢献」を進めることとしています。ようやく跳躍する時代がやってきました。

【この好機逸すべからず】

令和4年の当初予算よりも102.7%、補正予算を加算すると141.7%と予算は増えています。

主な施策の内容は大きく分けて次の3つです。

一 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策

燃料、資材の森林由来(木質バイオマス等)資源への転換

二 カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長

三 防災・減災・国土強靱化と災害復旧等の推進

治山及び罹災施設等の復旧等

ウ 今年から始めた取組

予算内容も種類が多様化し、複雑化していますがこの地域で取組めるものを活用していきたいと思っています。

人材の育成確保と組織体制の強化のため、本年1月から人事制度を民間コンサルティング企業に委託します。1年半くらい

の期間で現状の把握と課題を挙げ賃金体系や人事制度及び能力評価等を見直し組織体制の強化を図りたいと思っています。

おそらく森林組合関係で初めての試みだと思えます。長期にわたる取組ですが、優秀な人材の確保・社会的評価を高めるために必要なことです。暖かく見守って頂ければ幸いです。

今年が兎年「飛躍する年」となるよう役員一同努力して参りますので、益々のご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員各位のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。私の年頭の挨拶といたします。

代表理事組合長
 伊藤 康雄



森林組合では、Instagramをはじめました。当組合のホームページからもご覧いただけます。

山火事予防

山火事を防ぐあなたの心がけ

貴重な森林を山火事から守るため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

いしづち森林組合
 ISHIZUCHI FOREST ASSOCIATION

ロゴマークに込められた意味
 このマークの基本的理念は「地域の森・水・暮らしのために」です。

マークの上半分、これは地域のシンボルであり組合名の由来でもある石鎚山を表現したもので、里から見ただ山の色を水色で表現しています。下部の2本の曲線のうち桃色は「人々の暮らしや産業の為に」水色は川や瀬戸内海の水を表現し「水の為に」というメッセージを示しています。

今後、当森林組合としてはこのロゴマークを通じ、関係者や社会に基本的理念を広く周知させていきたいと思えます。組合員の皆様も、どこかで見かけましたら「こんな意味があったよね」と思い出しただけではありません。